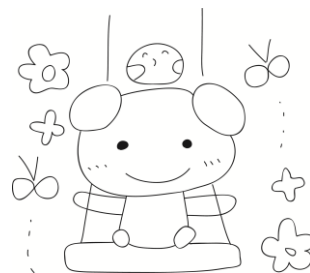


⑦ にょうろかんせんしょう 尿路感染症 ぼうこうにょうかんぎゃくりゅう （膀胱尿管逆流・すいじんしょう 水腎症）



〜〜〜どんな病気？〜〜〜

ばい菌（大腸菌などの細菌）が尿の出口（外尿道口）から尿の通り道（尿路）に入ることによって起こる感染症です。尿道や膀胱で感染がとどまっているものを下部尿路感染症（尿道炎、膀胱炎）、ばい菌が腎臓まで入ってしまうものを上部尿路感染症（腎盂腎炎）といいます。生まれつき腎臓や尿路に異常（とくに膀胱尿管逆流）がある場合、繰り返すことが多い病気です。

〜〜〜どんな症状がおこるの？〜〜〜

上部尿路感染症では発熱や腹部から背中にかけての痛み、だるさなどが特徴です。ただし、年齢が低い子の場合は発熱以外の症状がはっきりしないこともあります。これに対して尿道炎や膀胱炎などの下部尿路感染症では、トイレが近い、排尿時痛、残尿感などのほか、普段おもらしをしないのにパンツが濡れる、尿が臭い、尿に血が混じるといった症状がみられることがあります。

〜〜〜どんな治療をするの？〜〜〜

下部尿路感染症の場合は、多くは抗生物質（抗菌薬）の数日間の内服で治ります。発熱をとまなう上部尿路感染症は、点滴での治療が必要になります。尿路感染症を繰り返す要因（腎尿路異常）のあるお子さんは、予防的に寝る前に抗生物質を内服する場合があります。

〜〜〜膀胱尿管逆流と水腎症ってなに？〜〜〜

- ① 膀胱尿管逆流は、尿管と膀胱のつなぎ目（移行部）の異常があるために、膀胱におりた尿が排尿時に尿管・腎盂に逆流する病気です。尿管・腎盂に尿が逆流するため、排尿後も常に膀胱内には尿が残ることになり、尿路感染症の原因となります。程度の強い逆流は逆流性腎症という腎機能障害を起こすことがあり、手術が必要になります。
- ② 水腎症は尿路の通過障害（多くは腎盂尿管移行部）が原因で腎盂・腎杯に尿がたまっている状態です。水腎症の程度が強いと腎臓が圧迫されて腎機能が低下することがあり、手術が必要になります。

〜〜〜園生活ではどのように注意したらいいの？〜〜〜

尿路感染症自体はとくに制限はありません。膀胱尿管逆流のお子さんは、頻尿を訴えることや日中のおもらしがみられることがあります。尿路感染症の予防のためにも、排尿からある程度時間が経ったら再度トイレに行くように促していただく必要があります。水腎症の場合は園生活における注意はほぼありませんが、重度の水腎症の場合に腹痛や背中・腰の痛み、腹部がふくらむなどの症状がみられたら、主治医の先生への受診が必要です。